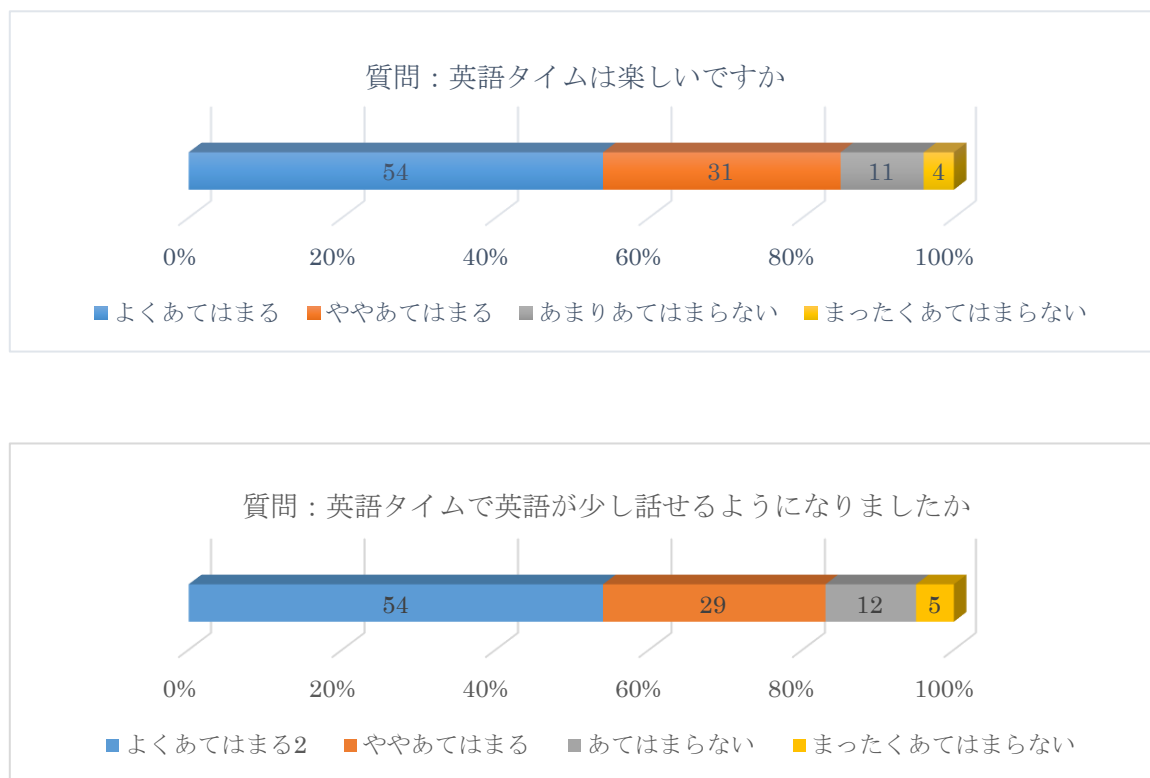


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度に1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動が楽しいですか」という質問に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の85%でした。また、「英語タイムで英語が少し話せるようになりましたか」という質問に、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の83%でした。このことから、多くの児童は英語タイムを楽しみながらDVDを視聴し、英語が使われる場面や会話内容を見て、言葉に出したり歌ったりして話す練習を行うことができていると考えられます。

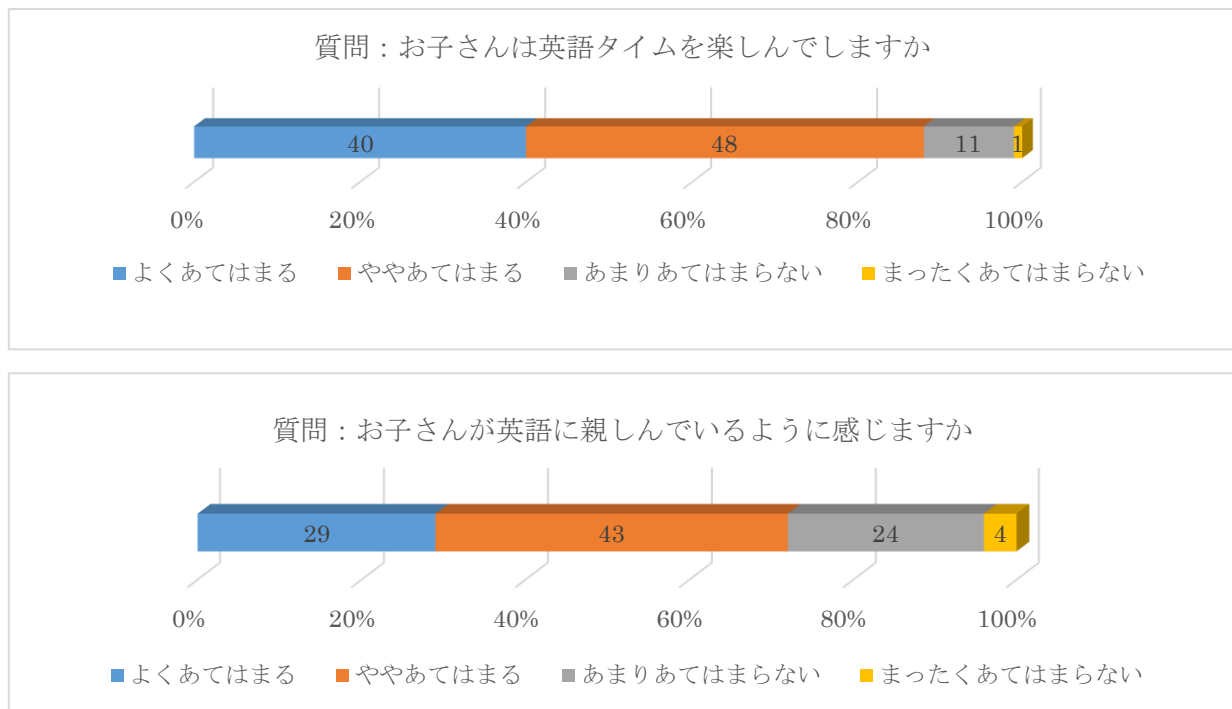
【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けのアンケートでは、「お子さんは英語タイムを楽しんでいますか」という質問に対し、全体の88%が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答し、また、「お子さんが英語に親しんでいるように感じますか」という質問では、72%が「よくあてはまる」「ややあてはまる」という回答でした。このことから、英語タイムで児童たちが楽しく英語を学んでいることを保護者の方にご理解いただけていることがうかがえました。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

資料1から、児童は日々のDVD視聴を通じて、英語で話されている内容を概ね理解することができていることが分かりました。また、資料2では児童が楽しく英語を学ぶことができていることを保護者の方にもご理解いただけていることが分かりました。

このような結果から英語タイムでは、簡単な英会話や英語の歌を大きな声で発音することができており、英語活動を通じて、英語に親しみ、より身近に感じることができるようになっていると考えられます。

今後の課題としては、DVDの視聴を繰り返した後に、視聴した内容に沿って実際に会話する活動を取り入れることで、英語をインプットするだけに留まらず、アウトプットも実践し、より楽しく英語を学ぶことができるようにしていく必要があると考えています。